

米子市危険物保安協会

発行所

米子市危険物保安協会
米子市両三柳5452番地
鳥取県西部広域行政
管理組合消防局内
電話 35-1955
印刷所/米子プリント社

会長あいさつ

米子市危険物保安協会会長

松本 啓



早春の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

皆様には、日ごろから本協会運営に對しまして格別のご高配とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昭和32年11月26日に発足しました米子市危険物保安協会も、昨年創立50周年を迎え、11月22日に記念式典、祝賀会を盛大に行うことができましたことは、ひとえに会員各事業所並びに関係各位の温かいご理解とご支援の賜ものと、深く感謝いたしております。また、実施に当たりましては記念事業実行委員会の委員長はじめ、委員、事務局の皆様にも計画の立案・実行と大変ご苦勞をお掛けしまし

た。心よりお礼申し上げます。

さて、昨年は長崎県大村市でのグループホーム「やすらぎの里」の火災、愛媛県今治市の太陽石油株式会社四国営業所での「原油タンク清掃中の爆発事故」、全国的に猛威を振るった「台風13号と集中豪雨」、北海道佐呂間町での「竜巻」など災害が発生し、多くの尊い人命と、財産が失われました。近年、このように全国各地で多種多様な災害が発生し、毎年のように繰り返されております。

このような中、米子市をはじめ周辺市町村においては、自然環境、社会環境等の変化に合わせ、公共危険の排除をするため、地域住民の「安全・安心」を守る「まち」づくりを推進してまいります。

危険物はその有益性と利便性において、私たちの生活には欠くことのできない物質になっております。しかし、危険物に係る災害は、一旦発生すると社会への影響が非常に大きいことから、地域住民の危険物に対する関心も強く、その安全を確保し、維持していくことも重要な課題であります。

球春!!洋の東西ともオープン戦が真つ盛りであります。過日の報道でマリナーズのイチロー選手は、日本のプロ野球オリックスに在籍し、活躍していたのは7年間であり、メジャーリーグ生活7年目を迎える今年は、プロ野球の選手として重要な意味を持つ一年であると位置づけ「初心に帰って、一歩、一歩着実に進みたい」との談話が報道されておりました。

当協会も創立以来50年と言う節目の年を経、新たな第一歩をあるき出すにあたり「協会創立の初心に帰り」危険物に因る火災や事故を根絶して地域の発展に寄与することともに、会員相互の親睦を図りつつ、地域住民が安心して暮らせる「まち」づくりの実現に向け、関係機関と連携して推進してまいりたいと考えております。

結びにあたり、本年が無事故で、明るく平穏な年でありますように、また、会員皆様のお力添えとご発展とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成19年度 危険物安全週間推進標語

危険物 目指せ無事故の MVP

平成19年度危険物安全週間

平成19年6月3日(日)から6月9日(土)

米子市危険物保安協会創立50周年記念式典・祝賀会

◆開催日／平成18年11月22日
◆開催場所／米子ワシントンホテル
プラザ



て変わって、鳥取県消防課の葉狩課長の乾杯と同時に九重谷火薬店様のご好意で花火を打ち上げていただき、続いて米子マンドリンククラブによるマンドリン演奏など賑やかな雰囲気の中始まりました。

後半、50年を振り返るといふ趣向で、米子市内の昔の風景や行事の写真を映像化し、司会の山本由紀子さんのコメントとともに流したところ、特に年配の参加者の方々は大変懐かしく観賞しておられ、隣席の人と昔話に花を咲かせておられました。

この度の50周年事業を盛会に終えることができましたのは、坪倉実行委員長始め実行委員の皆様のご尽力、並びに会員一人ひとりのご協力の賜物と感謝いたしております。

これを期に今後の協会が益々充実、発展するよう努力して参りますので、より一層

のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和32年11月に設立された当協会も、会員皆様のご支援により今年で満50年を迎えることとなりました。その節目を迎えるにあたり、11月22日に協会創立50周年を祝う式典並びに祝賀会を開催いたしました。

第一部の式典では、衆議院議員の赤沢亮正様を始め、野坂康夫米子市長様、岩崎康朗米子市議会議員様他多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、会員、役員を対象とした表彰状及び感謝状の授与、並びに創立50周年事業の記念品として、西部消防局に車一台を寄贈する目録を進呈させていただきました。

二部の祝賀会は、厳粛な式典と打つ



50周年記念記贈品 日産セレナ

新規採用職員防災研修会

平成18年6月29日、消防学校に於いて、当協会加入事業所の新規採用職員を対象とした防災研修会を開催いたしました。

当日の参加者95名全員が、万が一の災害に備えて真剣に訓練等に取り組んでおられました。

この体験を踏まえ、これからもより一層防災に対する意識を高めていただき、それぞれの職場において訓練等に励んでいただければと思います。

先進地視察研修

平成18年9月7日、8日の2日にわたり、会員、事務局13名で大阪に視察研修に行きました。

1日目は、エコオイルや燃料電池システム、ガスを使った最新システムが見学ができる、大阪ガス生活誕生間ディリパを訪れました。

館内の2階は、ミストサウナカプセルや床暖房、乾燥ルームなど各種の体感施設が用意されており、皆で実際に入って体感しました。

また、1階のキッチンスタジオでは、ガスコンロと電磁調理器の火力によるおいしさの違いを比べるため、冷凍ピラフを作って試食をするなど、見て、触れて、体験できる楽しい施設でした。

2日目の新コスモス電機(株)では、主に住宅用火災警報器の機能について学びました。

実験室には、国内及び海外で生産された警報器5種が設置してあり、ふとんによる燃焼実験や天から火災実験他、焼肉、たばこなどによる煙の実験を通して、

警報器の反応の違いを知ることができ、購入するに当たりたいへん参考になりました。

近年、参加人数が少なくなつて参りましたが、今後も継続して参りたいと考えておりますのでご協力お願いいたします。



危険物関係者研修会

平成19年3月14日、会員58名の参加の元、危険物関係者研修会が開催されました。

本年は、日本音楽熟成協会の理事長として国内外でご活躍の、東京印刷(株)杉原弘一郎社長を講師にお迎えし、「モーツアルトによる右脳開発」と題しご講演をいただきました。

モーツアルトの音楽を聴くことにより人間の右脳が活性化され、潜在能力を開花させて仕事の能力アップに繋がることや、人間以外にも動物、植物にはもちろんのこと、菌や加工品、無機物にまで効果をもたらす音楽の波動を知り、モーツアルトの持つ未知なる可能性と素晴らしい大変感銘いたしました。



顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所における吹きこぼれ対策

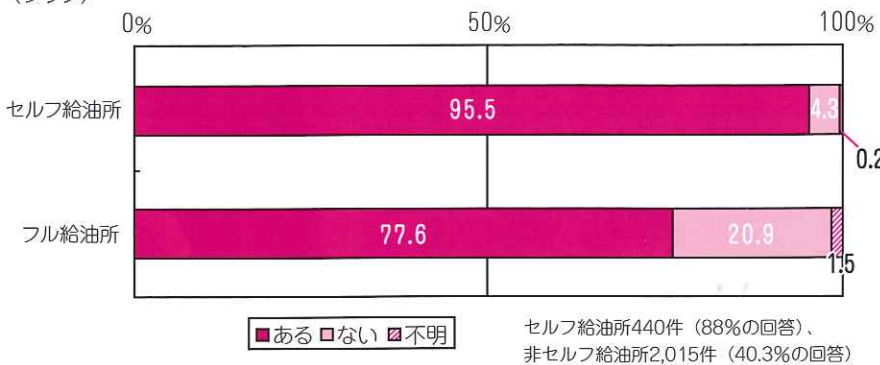
消防庁は、ガソリン吹きこぼれに関する実態調査報告を踏まえ「顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所における吹きこぼれ対策について」通知しました。(平成18年8月4日付、消防危第181号消防庁危険物保安室長通知)

給油取扱所における給油中の燃料の吹きこぼれに関する実態調査報告

※石油連盟、全国石油商業組合連合会、社団法人日本自動車工業会、日本ガソリン計量機工業会の4団体による実態調査

最近1年間の吹きこぼれの有無

(グラフ)



推定される吹きこぼれ原因

- 給油方法の周知不足**
 - ・オートストップ後の継ぎ足し
 - ・少流量での給油
 - ・ノズルの差込不足
- 給油ノズルと自動車の給油口の関係**
 - ・オートストップが頻繁に作動し、オートストップが効いたときに逆流した等
- 給油ノズルの不具合**
 - ・オートストップの不作動

181号通知周知事項

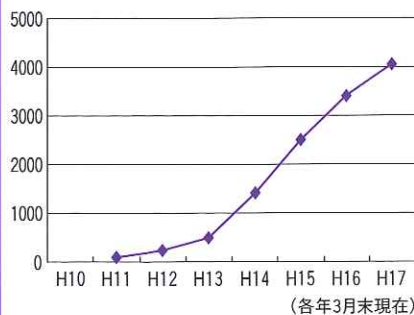
① 顧客に対する適正な給油方法の周知について

固定給油設備に備えられている満了停止装置(オートストップ)は、定量が一定以下の場合又は給油ノズルを奥まで差し込まない場合には機能しないおそれのあることから、給油ノズルを奥まで差し込み、レバーを完全に握って給油するとともに、一度満了停止した場合に継ぎ足して給油しないよう、固定給油設備にこの旨を表示する等当該セルフスタンドを利用する顧客に周知すること。

② 給油ノズル等の維持管理について

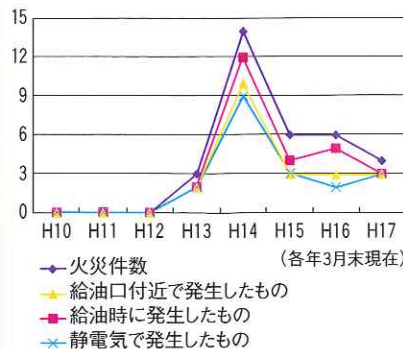
満了停止装置をはじめとする給油の安全確保の装置等は、適当な維持管理が行われて初めて機能するものであることから、給油ノズル等について法定点検に加えて日常点検を行い、基準に適合したものであることを確認すること。また、変形等の異常があった場合には、速やかに使用を停止し、交換や修理を行うこと。

セルフスタンドの設置数の推移

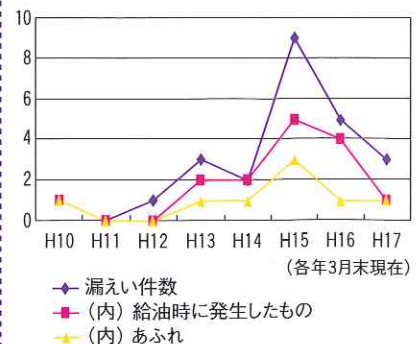


セルフスタンドの事故概要

火災



漏えい



平成18年度表彰

危険物の保安管理に対する意識の高揚と啓発を図るため、危険物安全週間中の六月五日に東京で全国危険物安全大会、九日に倉吉市で鳥取県危険物安全大会が開催され、それぞれの会場において以下の方々が各賞を受賞されました。

全国危険物安全協会理事長表彰

★功労者表彰

吹野 友昭

(株式会社 米子マツダ)

鳥取県知事表彰

★危険物優良取扱者表彰

小笹 彪

(株式会社 ショモネット山陰)

鳥取県危険物保安協会

連合会会長表彰

★危険物優良事業所表彰

鳥取日産株式会社

協業組合 菊水フォーシング

★危険物保安功労者表彰

青戸 圭一

(青戸モーターズ)

新委員の紹介

株式会社 鶴見製作所

(平成17年度加入)

株式会社 チュウブ

鳥取県立米子南高等学校

株式会社 大協組

試験結果報告

平成十八年度、当協会が実施しました「危険物取扱者試験準備講習会」を受講された皆様の合格率は次のとおりです。

第一回

乙種四類 五〇・〇%

丙種 八一・八%

◎鳥取県平均

乙種四類 三〇・六%

丙種 五八・三%

◎全国平均

乙種四類 合格率三二・九%

丙種 合格率五五・二%

(八月実施結果 38県平均)

第二回

乙種四類 五七・八%

丙種 九〇・〇%

◎鳥取県平均

乙種四類 三六・三%

丙種 五三・八%

◎全国平均

乙種四類 合格率三五・三%

丙種 合格率四七・七%

(十一月実施結果 36県平均)

第三回

乙種四類 一〇〇%

◎鳥取県平均

乙種四類 四一・九三%

◎全国平均

乙種四類 合格率四三・九%

(一月実施結果 6県平均)

試験・講習会情報

平成十九年度危険物取扱者試験

【第一回】

◎試験日・試験種類

平成十九年六月十七日(日)

甲種・乙種・丙種

◎願書受付期間

平成十九年四月十二日

～四月二十六日

☆事前講習会 五月下旬予定

【第二回】

◎試験日・試験種類

平成十九年十月二十八日(日)

甲種・乙種・丙種

◎願書受付期間

平成十九年九月四日

～九月十八日

☆事前講習会 十月中旬予定

【第三回】

◎試験日・試験種類

平成二十年二月三日(日)

乙種四類のみ

◎願書受付期間

平成十九年十二月十日

～十二月二十日

☆事前講習会 一月中旬予定

危険物保安講習(法定講習)

平成十九年八月中旬～下旬予定

※詳細が決まり次第、消防局のホームページに掲載いたします。

救急車の適正利用について

救急件数が全国的に年々増加しています

救急車は、ケガや病気などで緊急に病院に運ばなければならない傷病者のためのものです。

安易に救急車を要請することが増えれば、本当に救急車を必要とする場合に、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れ救える命が救えなくなります。

こんなときは、どうする？



- ★呼びかけや刺激に反応がない
- ★呼吸が苦しい
- ★胸が痛い
- ★激しい頭痛がある
- ★けいれん(ひきつけ)が続く

すぐに119



- ☆発熱がある
- ☆捻挫や突き指をした
- ☆かすり傷程度
- ☆どこの病院に行っているかわからない

緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。

大切な命を守る為に、ご協力をお願いします

お近くの病院に連絡するか、消防局指令課(0859-3511960)に問い合わせをしてください